

JIS

UDC 681.327.636

X 6123
(ISO/IEC 9661)

12.7 mm幅, 18トラック, 1491 cpmm,
情報交換用磁気テープカートリッジ

JIS X 6123 -1996

(ISO/IEC 9661 : 1994)

(2001 確認)

(2005 確認)

平成 8 年 8 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 2.9.1 改正：平成 8.8.1

官 報 公 示：平成 8.8.1

原案作成協力者：社団法人 日本電子工業振興協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 電子部会（部会長 伊藤 紘二）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 適合性	1
3. 引用規格	1
4. 用語の定義	1
4.1 平均信号振幅	2
4.2 裏面	2
4.3 テープの始端	2
4.4 バイト	2
4.5 カートリッジ	2
4.6 巡回冗長検査文字	2
4.7 データ密度	2
4.8 誤り訂正符号	2
4.9 磁束反転位置	2
4.10 磁束反転間隔	2
4.11 磁気テープ	2
4.12 標準テープ	2
4.13 記録密度	2
4.14 ポストアンプル	2
4.15 プリアンプル	2
4.16 基準磁界	2
4.17 副標準テープ	2
4.18 標準信号振幅	2
4.19 基準電流	2
4.20 試験記録電流	2
4.21 トラック	2
4.22 ティピカル磁界	2
5. 環境条件及び安全性	2
5.1 試験環境条件	2
5.2 使用環境条件	3
5.3 保存環境条件	3
5.4 安全性の要求事項	3
5.4.1 安全性	3
5.4.2 燃焼性	3
5.5 輸送条件	3
6. テープの特性	3
6.1 材料	3

	ページ
6.2 テープの長さ	3
6.3 テープの幅	3
6.4 テープの連続性	3
6.5 テープの厚さ	3
6.6 ベースの厚さ	3
6.7 長手方向の湾曲	3
6.8 平面からのひずみ	3
6.9 カッピング	3
6.10 動摩擦特性	4
6.10.1 記録面と裏面との動摩擦力	4
6.10.2 記録面とフェライトとの動摩擦力	4
6.11 塗布面の接着強度	4
6.12 剛性	5
6.13 表面電気抵抗	5
6.14 耐久性	6
6.15 不良テープ	6
6.16 テープの研磨性	6
6.17 記録前の磁気状態	6
6.18 磁気記録特性	6
6.18.1 ティピカル磁界	6
6.18.2 平均信号振幅	6
6.18.3 分解能	7
6.18.4 重ね書き	7
6.18.5 狭帯域信号対雑音比(NB-SNR)	7
6.19 テープの品質	7
6.19.1 ミッシングパルス	8
6.19.2 ミッシングパルス領域	8
6.19.3 同時発生ミッシングパルス領域	8
7. カートリッジの寸法及び機械的特性	8
7.1 カートリッジの全体の寸法	9
7.2 書込み禁止機構	9
7.3 後面のラベル領域	9
7.4 上面のラベル領域	9
7.5 ケース開口部	9
7.6 位置決めノッチ	10
7.7 位置決め領域	10
7.8 ケースの開口部周辺の内部構造	10
7.9 ケースのその他の外形	10
7.10 中心孔	11

7.11	スタッキングリブ	11
7.12	ケースの柔軟性	11
7.12.1	要求事項	11
7.12.2	試験方法	11
7.13	リール	11
7.13.1	ロック機構	11
7.13.2	リールの回転軸	12
7.13.3	金属接合部	12
7.13.4	歯形リム	12
7.13.5	リールのハブ	12
7.13.6	相対位置	12
7.13.7	歯形リムの形状	13
7.14	リーダブロック	13
7.15	リーダブロックへのテープの取付け	13
7.16	ラッチング機構	14
7.17	テープの巻き方	14
7.18	テープの巻き張力	14
7.19	テープの巻きの円周	14
7.20	慣性モーメント	14
8.	記録方式	20
8.1	記録密度	20
8.2	ビットセル長	20
8.3	平均ビットセル長	20
8.4	長周期平均ビットセル長	20
8.5	短周期平均ビットセル長	20
8.6	短周期平均ビットセル長の変動率	20
8.7	ビットシフト	20
8.8	トータルキャラクタスキュー	20
8.9	再生信号振幅	20
8.10	同時発生ミッシングパルス領域	20
9.	トラック	21
9.1	トラック数	21
9.2	基準線	21
9.3	トラック位置	21
9.4	トラック幅	21
9.5	アジマス	21
10.	データフォーマット	21
10.1	バイトの種類	21
10.1.1	データバイト	21

10.1.2	パッドバイト	22
10.2	フレーム	23
10.3	データブロック	23
10.3.1	接頭辞	23
10.3.2	データフレーム	23
10.3.3	剰余フレーム1	24
10.3.4	剰余フレーム2	25
10.3.5	剰余フレームの要求事項のまとめ	26
10.3.6	接尾辞	27
10.4	誤り訂正符号(ECC)	27
10.4.1	斜め冗長検査(DRC)符号	27
10.4.2	垂直冗長検査(VRC)符号	27
10.4.3	ECCのフォーマット	27
10.4.4	ECCのまとめ	28
10.5	8ビットバイトの記録	28
10.6	記録データブロック	28
10.6.1	プリアンブル	29
10.6.2	データ開始マーク(BDM)	29
10.6.3	再同期制御フレーム	29
10.6.4	データ終了マーク(EDM)	29
10.6.5	ポストアンブル	29
10.7	データ密度	29
11.	テープフォーマット	29
11.1	記録密度識別バースト	30
11.2	ID分離バースト	30
11.3	ブロック間隔	31
11.4	消去ギャップ	31
11.4.1	正常の消去ギャップ	31
11.4.2	長大な消去ギャップ	31
11.5	テープマーク	31
11.6	ブロック間隔, 消去ギャップ及びテープマークの関係	31
11.6.1	ブロック間隔に続くテープマーク	31
11.6.2	テープマークに続くブロック間隔	31
11.6.3	ブロック間隔に続く消去ギャップ	31
11.6.4	消去ギャップに続くブロック間隔	32
11.6.5	ブロック間隔, 消去ギャップ及びテープマークの關係のまとめ	32
11.7	テープの最初及び最後の記録	32
11.8	テープフォーマットのまとめ	33
11.8.1	記録データブロック以外の記録	33

11.8.2 テープ上の記録の配列	33
附属書A(参考) 輸送条件	35
附属書B(参考) 不良テープ	36
附属書C(規定) テープ研磨性試験方法	37
附属書D(参考) テープの耐久性	39
附属書E(規定) 記録前の磁気的狀態	40
附属書F(規定) 8ビットバイトの9ビットパターンでの表現	41
附属書G(規定) ビットシフトの測定方法	44
解説	47

白
紙

12.7 mm幅, 18トラック, 1 491 cpmm, X 6123-1996

情報交換用磁気テープカートリッジ (ISO/IEC 9661:1994)

Data interchange on 12.7 mm wide magnetic tape
cartridges—18 tracks, 1 491 data bytes per millimeter

日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1994年に発行されたISO/IEC 9661 (Information technology—Data interchange on 12,7 mm wide magnetic tape cartridges—18 tracks, 1 491 data bytes per millimetre)を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で下線(点線)を施してある参考は、原国際規格にはない事項である。

1. **適用範囲** この規格は、情報交換に用いる12.7 mm幅, 18トラックの磁気テープカートリッジの物理的特性及び磁気的特性について規定する。この規格は、JIS X 0601とともに、テープカートリッジを媒体として情報交換に使用できるように磁気テープカートリッジの記録信号の品質、フォーマット及び記録方法を規定する。

2. **適合性** 磁気テープカートリッジは、この規格のすべてを満たすとき、この規格に適合する。テープの要求事項は、テープの全域について適用する。

3. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されたことによって、この規格の規定を構成する規定となる。出版時に明示されている版号が有効であるが、すべての規格は改正されるもので、この規格の関係者は、次の最新のものを調査し適用するよう推奨する。

ISO/IEC 646 : 1991 Information technology—ISO 7-bit coded character set for information interchange

参考 JIS X 0201-1976(情報交換用符号)がこの国際規格と一致している。

ISO 683-13 : 1986 Heat-treatable steels, alloy steels and free-cutting steels—Part 13 : Wrought stainless steels

参考 JIS G 4304-1991(熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)がこの国際規格と一致している。

ISO 1001 : 1986 Information processing—File structure and labelling of magnetic tapes for information interchange

参考 JIS X 0601-1990(情報交換用磁気テープのラベル及びファイル構成)がこの国際規格と一致している。

ISO 1302 : 1992 Technical drawings—Method of indicating surface texture

ISO/IEC 2022 : 1994 Information technology—Character code structure and extension techniques

参考 JIS X 0202-1991(情報交換用符号の拡張法)がこの国際規格と一致している。

ISO/IEC 4873 : 1991 Information technology—ISO 8-bit code for information interchange—Structure and rules for implementation

4. **用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。